

みずほCustomer Desk Report 2020/07/06号 (As of 2020/07/03)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	107.50 AUD/USD
TKY 9:00AM	107.49	1.1238	120.76	1.2462	0.6920
SYD-NY High	107.57	1.1253	120.95	1.2495	0.6949
SYD-NY Low	107.44	1.1219	120.63	1.2440	0.6914
NY 5:00 PM	107.52	1.1246	120.83	1.2485	0.6945
NY DOW	-	-	日本2年債	-0.140	0.00bp
NASDAQ	-	-	日本10年債	0.022	▲0.85bp
S&P	-	-	米国2年債	-	-
日経平均	22,306.48	160.52	米国5年債	-	-
TOPIX	1,552.33	9.57	米国10年債	-	-
シカゴ日経先物	-	-	独10年債	-0.4345	▲0.30bp
ロンドンFT	6,157.30	▲83.06	英10年債	0.1880	0.45bp
DAX	12,528.18	▲80.28	豪10年債	0.9140	▲2.80bp
ハンセン指数	25,373.12	248.93	USDJPY 1M Vol	5.33	▲0.06%
上海総合	3,152.81	62.24	USDJPY 3M Vol	6.00	▲0.15%
NY金	-	-	USDJPY 6M Vol	7.08	▲0.02%
WTI	-	-	USDJPY 1M 25RR	-0.55	Yen Call Over
CRB指数	-	-	EURJPY 3M Vol	7.48	▲0.17%
ドルインデックス	97.17	▲0.14	EURJPY 6M Vol	8.03	▲0.15%

【昨日の指標等】

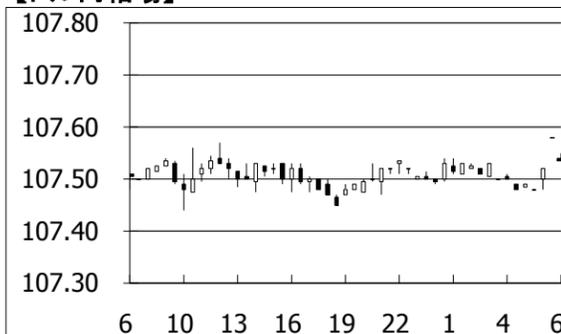
Date	Time	Event	結果	予想
7月3日	10:30	豪 小売売上高(前月比)	5月 16.9%	16.3%
	10:45	中 Caixinサービス業/総合PMI	6月 58.4/55.7	53.2/-
	16:55	独 マークイットサービス業PMI・確報	6月 47.3	45.8

【本日の予定】

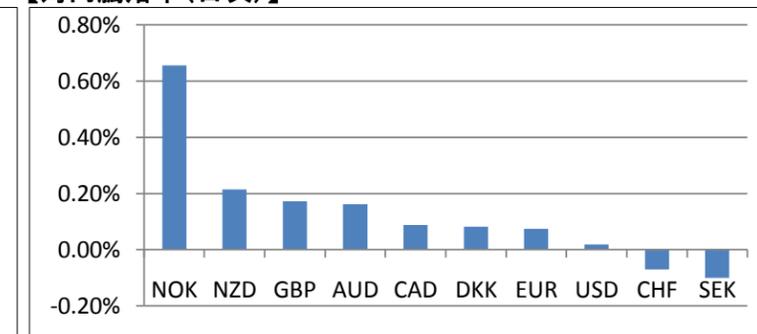
Date	Time	Event	予想	前回
7月6日	15:00	独 製造業受注(前月比/前年比)	5月 15.4%/-24.0%	-25.8%/-36.6%
	18:00	欧 小売売上高(前月比/前年比)	5月 15.0%/-6.5%	-11.7%/19.6%
	22:45	米 マークイットサービス業/総合PMI・確報	6月 47.0/-	46.7/46.8
	23:00	米 ISM非製造業景況指数	6月 50.0	45.4

東京	東京時間は107.49レベルでオープン。仲値にかけて安値107.44から高値107.57まで上昇した後は、ドル買い一巡。東京市場終盤にかけては、米独立記念日の振り替え休日による米国休場を控え107円半ばを中心とした動意に乏しい展開。結局107.52レベルでクローズ。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、107.52レベルでオープン。薄商いの中、107円半ばで小動きに終始し、107.53レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2476レベルでオープンし、朝方は週末を控えてポジション調整とみられるポンド売りが優勢となり、1.2440まで下落。その後、1.2440と1.2460のレンジでこう着状態となり、1.2453レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルフリー 00531 444 179 マクルヒル)
ニューヨーク	米独立記念日の振替休日で、ほとんどの米企業が休日扱いとなり、為替以外の米金融市場も休場となることから、海外市場のドル円は107.44-57の狭いレンジでの推移が続く。107.53レベルでNYオープン。本日は経済指標の発表も予定されていないことから午前中は狭いレンジでの推移が続く。午後は欧州勢もいなくなり、更に閑散とした取引となる。NY市場のドル円は107.48-54のわずかに6銭の値動きに終始し、107.52レベルで週を終えた。一方、6/28のフランスの統一地方選で大統領率いる与党が大敗したことを受け、内閣が総辞職したことや、EUの復興基金に対してオランダの首相が引き続き反対表明していることが伝わり、今半月のEU首脳会議で合意に至らないとの思惑も強まる中上値を重くし、海外市場で1.1219まで下落したユーロドルは1.1225レベルでNYオープン。朝方はECBのハンデミック緊急購入プログラム(PEPP)で内部で意見対立が進行しているとの内容の記事が出たものの、米勢不在の中、ドル売りが強まり1.1248まで戻す。午後は1.1240付近での閑散な取引が続く。1.1246レベルでクローズした。(NY井上)

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】 今週の材料は

足元、ドル円は米国でのコロナウイルス2次感染再拡大や経済制限の再導入にも関わらず、先月末から7月1日にかけて107円ちょうど付近から108円台前半に上昇し、現在107円台半ばで推移している。今週もドル円上下どちらとも一方的に抜けていくような材料には欠け米国のコロナウイルス感染再拡大と経済早期正常化の動向を探りながら107円台を中心として動きづらいつ展開となると予想する。

米国でも感染拡大が続く州で、経済活動制限の対策で感染増加が抑制できるかに加え、米国の経済指標に対するドル円の反応にも注目だ。先日1日の米ISM製造業景況指数や2日の米雇用統計が市場予想比良好な結果となってもドル上値が重かった。今週もいくつか米経済指標が発表となるが、市場予想比良好な結果となり、108円半ばを試すというよりは市場予想を下回りドル円下落するリスクの方が高いと考えている。

また、ウィズコロナの環境でどの程度、経済活動を保てるかに注目している。感染者の増加が著しい米国もさることながら日本国内でも自粛要請が出るのかにも関心が高まってきている。西村経済再生相は再度の緊急事態宣言に慎重であると伝えられる一方、小池百合子東京都知事は5日の都知事選で再選された場合、東京都独自の対応を出すのではないかと観測が一部に出ている。再度の全面自粛要請となった場合、ドル円相場に対しての影響は限定的となりそうだが、日本経済へのダメージは深刻なものとなりそう。2次感染者の増加の影響はすでに市場で織り込み済みという声もあるが果たしてそうか。今後2次、3次感染と各国で起こり経済活動が制限されれば市場で想定されている景気回復シナリオは下方修正を余儀なくされるだろうし、経済再開期待先行で上昇していた株式市場も巻き戻され、ドル円も下落するといったシナリオとなるのではないかと。(松本)

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	牛島	山岸	田坂	尾身	上野
ベア	ベア	ブル	ブル	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア
山口	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	小林
ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア

ブル	ベア
6	14



当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。